

わたしを あいしてくださる かみさまに  
さいこうの えいこうを ささげましょう

# まいた ぶんだけ かりとる



- いのり \_\_\_\_\_ しかいしゃ
- しとしんじょう \_\_\_\_\_ みんなで
- さんび \_\_\_\_\_ さんびか 71 ばん (みなささげまつり) いっしん! ぜんしん! じぞく! (2015 ねんこどもさんび)
- せいしよ \_\_\_\_\_ II コリント 9:6~15

II コリント 9:6~15 わたし かんが すす だけ まもの すこ だけ か と 取り ゆたかに まもの ゆたか かりとります。ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛して下さいます。神は、あなたがたを、常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です。(6~8)

- みことば \_\_\_\_\_ まいた ぶんだけ かりとる \_\_\_\_\_ しかいしゃ

私たちがささげた献金は、福音のために用いられます。使徒パウロは、献金をするとき、ひとりひとりが、心で決めたとおりにして、いやいやながらも、むりやりさせられるのでもないようにと言いました。神様は喜ぶ心で献金をする人を愛して下さいます。

蒔いたとおりに刈り取ります。福音のために献金する者と、この世の喜びのためにお金を使う者は、刈り取る実がちがいます。蒔く人に種と食べるパンを備えてくださる神様は、私たちにも蒔く種を備えて下さいます。福音のために献金するなら、神様がすべてのことに満ちあふれるように与えて下さり、義の実を増し加えて下さると言われています。

真実な心で、キリストを信じて、みことばに聞き従うなら、福音のために献金をささげるとき、神様に栄光をささげる伝道者の生活を味わえます。神様は、私たちに絶大な恵みと、ことばで表わせないほどの賜物を下さいます!

- いのり \_\_\_\_\_ いっしょに おおきなこえで  
いのりましょう

ちちなる かみさま、ありがとうございます! かみさまが くださることを かみさまに ささげることが できる めぐみを くださって ありがとうございます。 かんしゃしつつ ささげる けんきんが いのちを いかす ことに もちいられ もっと もちいられることができる ように あふれるほど ゆたかな ふくいんの けいざいを あたえてください。 イエス・キリストのおなまえに よって おいのりします。 アーメン

- しゅのいのり \_\_\_\_\_ いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう
- フォーラム \_\_\_\_\_ きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう



あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。  
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん  
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

**かみは、あなたがたを、  
つねに すべての ことに**

**みちたりて、**

**すべての よいわざに**

**あふれるものと するために、**

**あらゆる めぐみを**

**あふれるばかり あたえる**

**ことの できる かたです。**

わたしたちは れいはいを ささげるとき かんしゃの ところで  
かみさまに じゅんびした ささげものを します。  
かみさまは ささげものが おおいか すくないか ではなく  
わたしたちの ころの ちゅうしんを みておられます。  
わたしは ほんとうに かみさまに ころから ささげる  
ささげものを しているのでしょうか。 ハートの なかに ある  
ことばと おなじ いろの かみを つぎの ページから  
きりとって ちいさく やぶって ハートの かたちにはりましょう。

じゅんびする もの： はさみ のり つぎのページ



よろこび

かんしゃ

たのしみ



よろこび

かんしゃ

たのしみ

きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。  
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど  
かんがえてみましょう。  
したの ないようを よんで じゅうような たんごを  
うえから なぞって かきましょう。

かみさまは **よろこぶ** **こころ**で

**けんきん**を するひとを あいしてくださいます。

ふくいんの ために けんきんするなら、

かみさまが すべてのことに

みちあふれるように あたえてくださり、

ぎの みを まし くわえてくださると

いわれています。

かみさまは、わたしたちに

ぜつだいな **めぐみ**と、

ことばで あらわせないほどの

**たまもの**を くださいます！



かくれている えを みつけたり きれいに いろを  
ぬったり しましょう

おさないときから せいしょを して ふくいんの なかで そだつ  
わたしたちは しゅくふくされた ものです。 れいてきな  
バランスを ととのえる なかで ただしい はじまりを するなら  
わたしたちは れいてきサミット ふくいんエリート せかいふくいんかの  
しょうにんと なるでしょう。きょうも ただ イエスの なかで  
しょうりするように しましょう。

じゅんびするもの | いろを ぬる どうぐ



パパとママと いっしょに おはなしして  
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを  
えで ひょうげんしましょう。

わたしたちの せいかつの ほうこうが かみさまと ほうこうが  
あっているのか いちど てんけんしてみましょう。 かぞくと  
いっしょに ふくいんてきな けいざいかん (おかねに ついての  
かんがえかた) に ついて はなしを わかちあいましょう。  
また わたしたちの かていが これから かみさまの まえに  
そなえるべき ただしい ふくいんの けいざいかんに たいして  
じっせんする ことを しか えで ひょうげんして  
ふくいんの バランスを ととのえるように しまししょう。

23

きんようび



たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを  
ここに きざみましょう

しとパウロは 3かいに わたって せんきょう りょこうを しました。  
せんきょう りょこうの あいだ 20,000kmの きよりの たびを しました。  
ろばや らばを つかったり いちにちに やく20~30km ほどを あるいたと  
かんがえられています。 しとパウロは いく すべての ところで イエスが  
キリストであることを のべつたえました。 きょうは パウロの 3かいめ  
せんきょう りょこうに ついて ミニブックを つくって パパとママと いっしょに  
よみましょう

じゅんぴするもの | はさみ のり つぎからのページ

# しとパウロの 3かいめの せんきょうりょこう



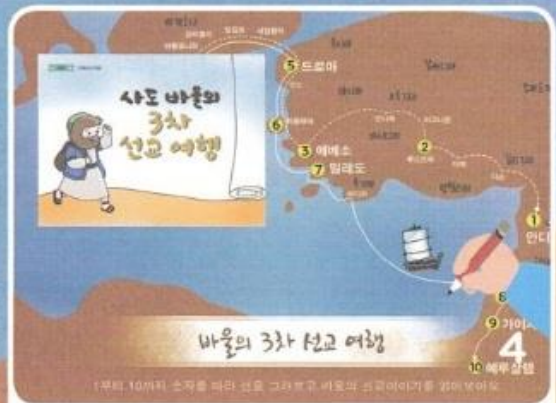
つぎのページからの えを  
すべて きります



ひょうしを さいしょにして 1~9ページの  
のりを めって はります。 あなの かたちを  
パンチで あなを あけて つなげて も よいでしょ



せんきょうりょこうの ちずを みて  
ものがたりを よみます



ちずに かかっている てんせんを つながながら  
パウロが した せんきょうりょこうについて  
はなしを して わたしの せんきょうりに  
ついて も はなしを してみましょう。

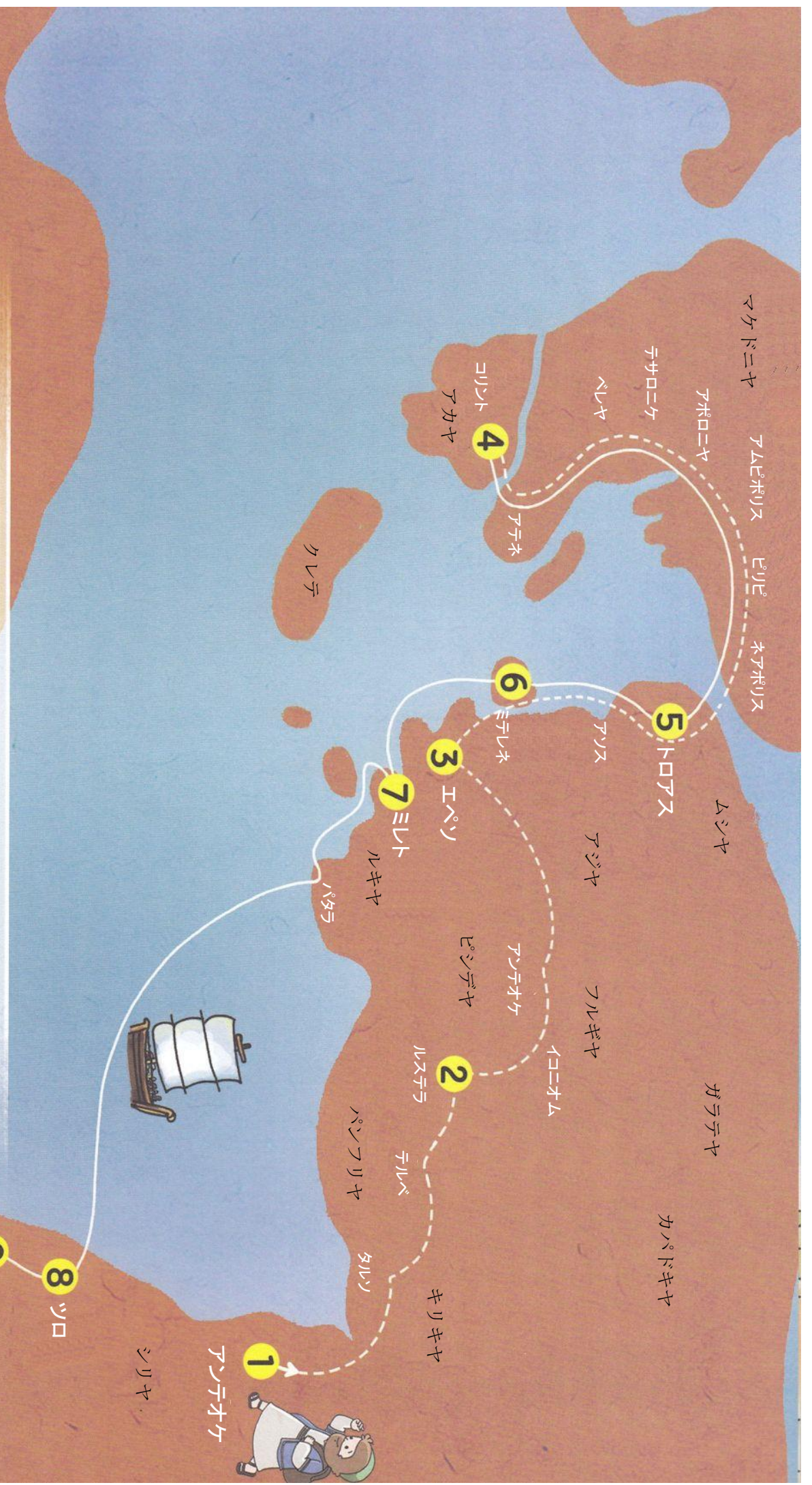


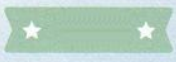




# パウロの 3かいめの せんきょうりよこう

1から10までの すうじに そって せんを ひきながら  
パウロの せんきょうりよこうの はなしを よみましょう





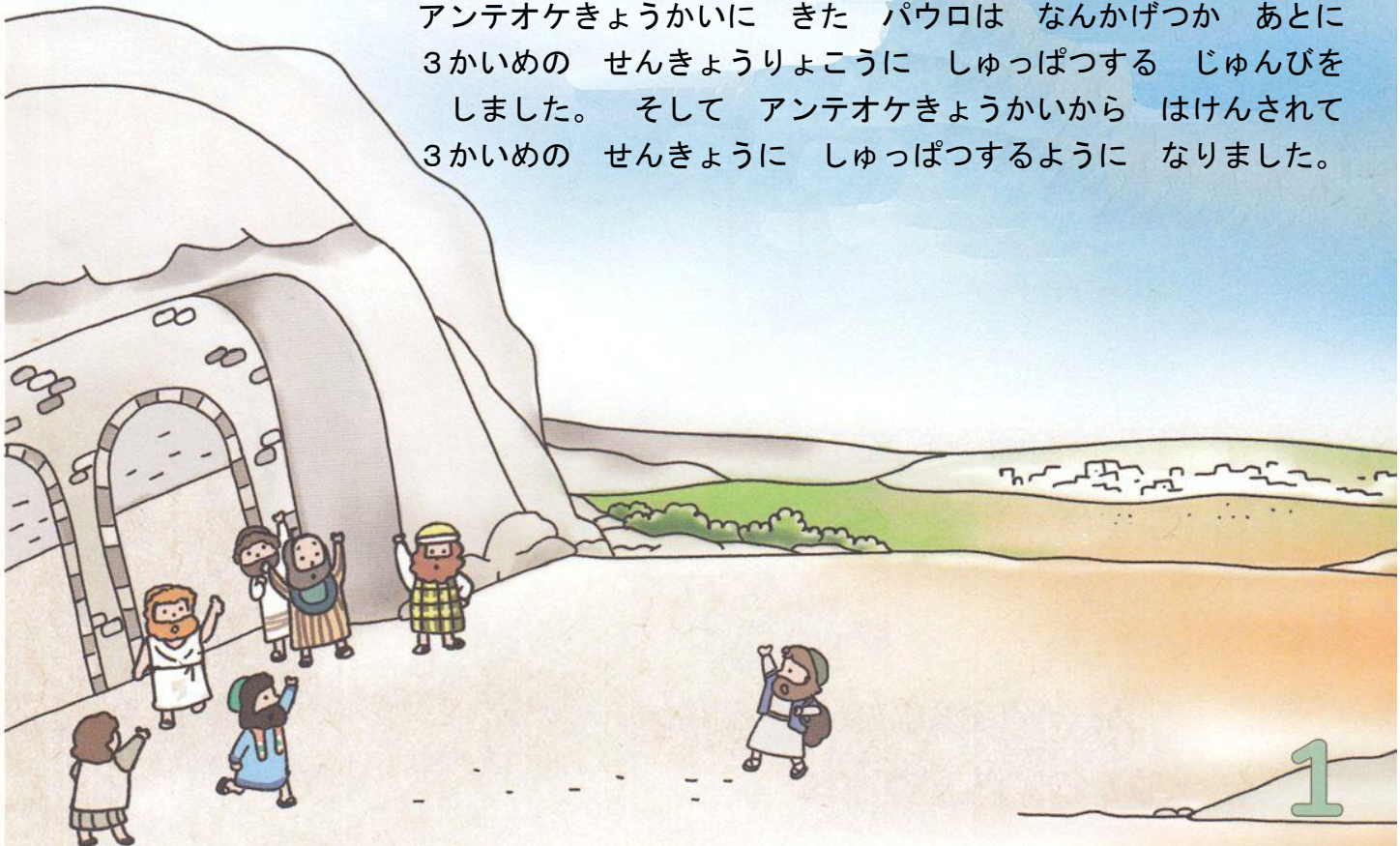
# しとパウロの

## 3かいめの

### せんきょうりょこう



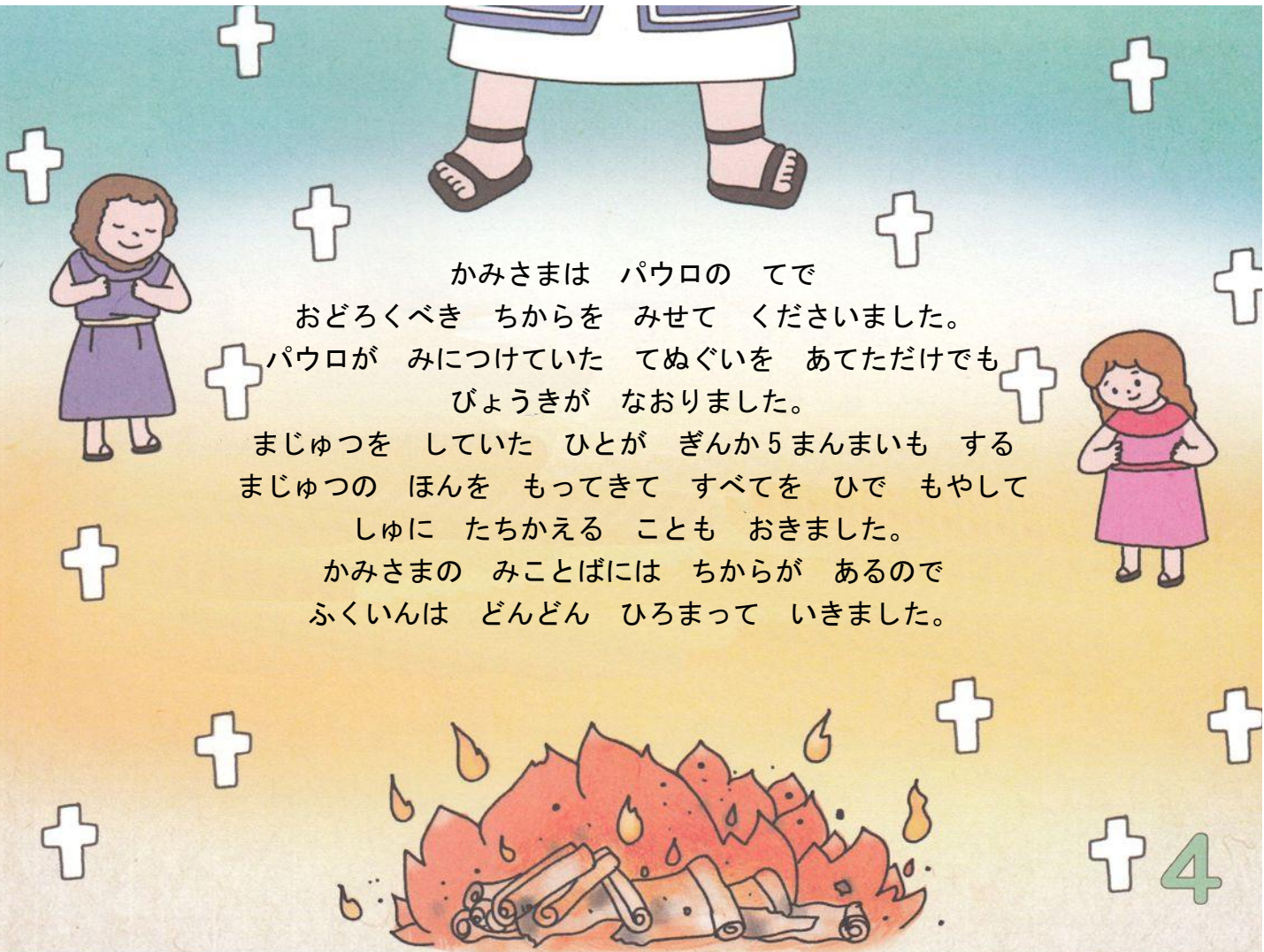
2かいめの せんきょうりょこうを してきてから すこしして アンテオケきょうかいに きた パウロは なんかげつか あとに 3かいめの せんきょうりょこうに しゅっぱつする じゅんびを しました。そして アンテオケきょうかいから はけんされて 3かいめの せんきょうに しゅっぱつするようになりしました。



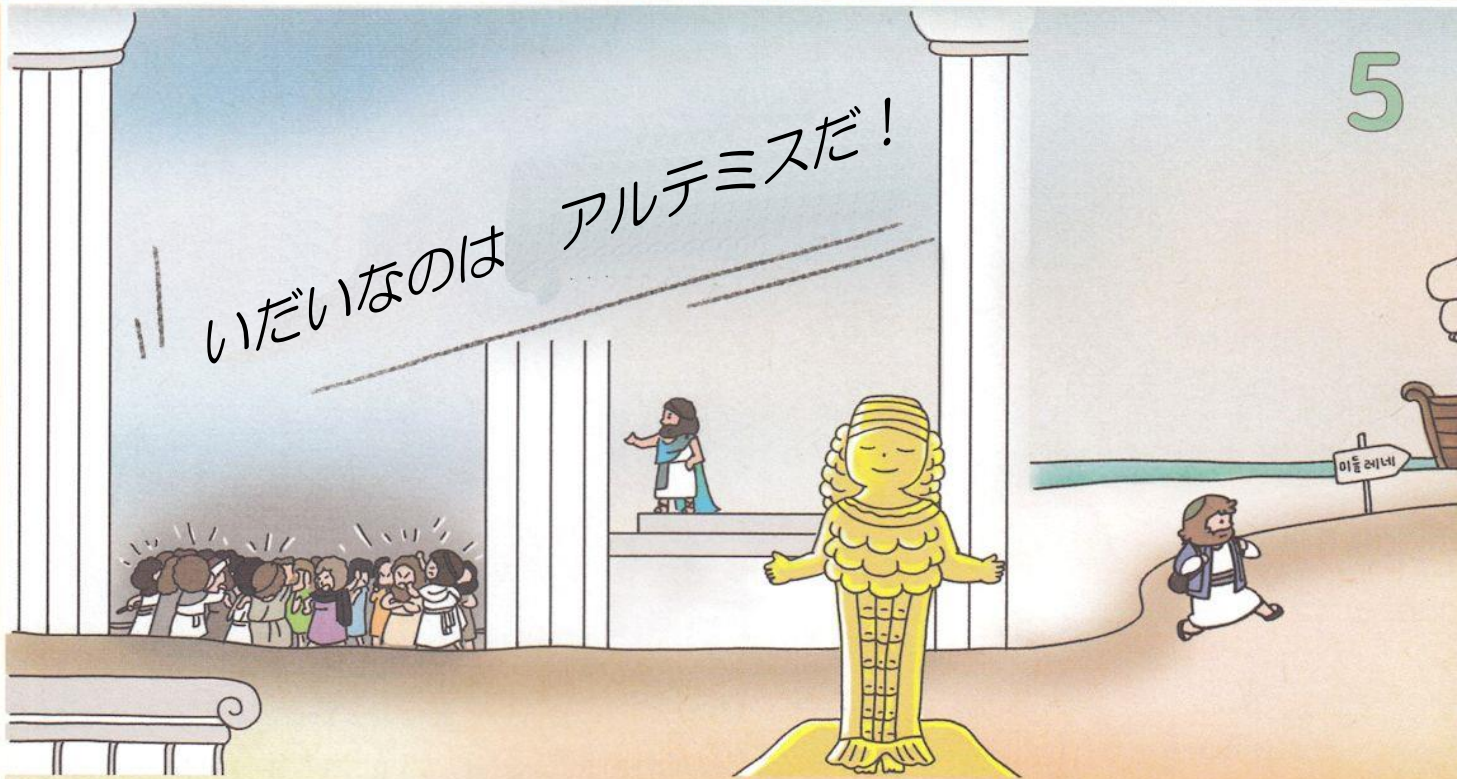
パウロは ガラテヤと フルギヤを とおりながら  
2かいめの せんきょうりょこうで であつた でしたちに  
もういちど あいに いきました。  
そして かれらの しんこうを みことばで  
もっと しっかりと させて  
エペソに むかつて たびをしました。



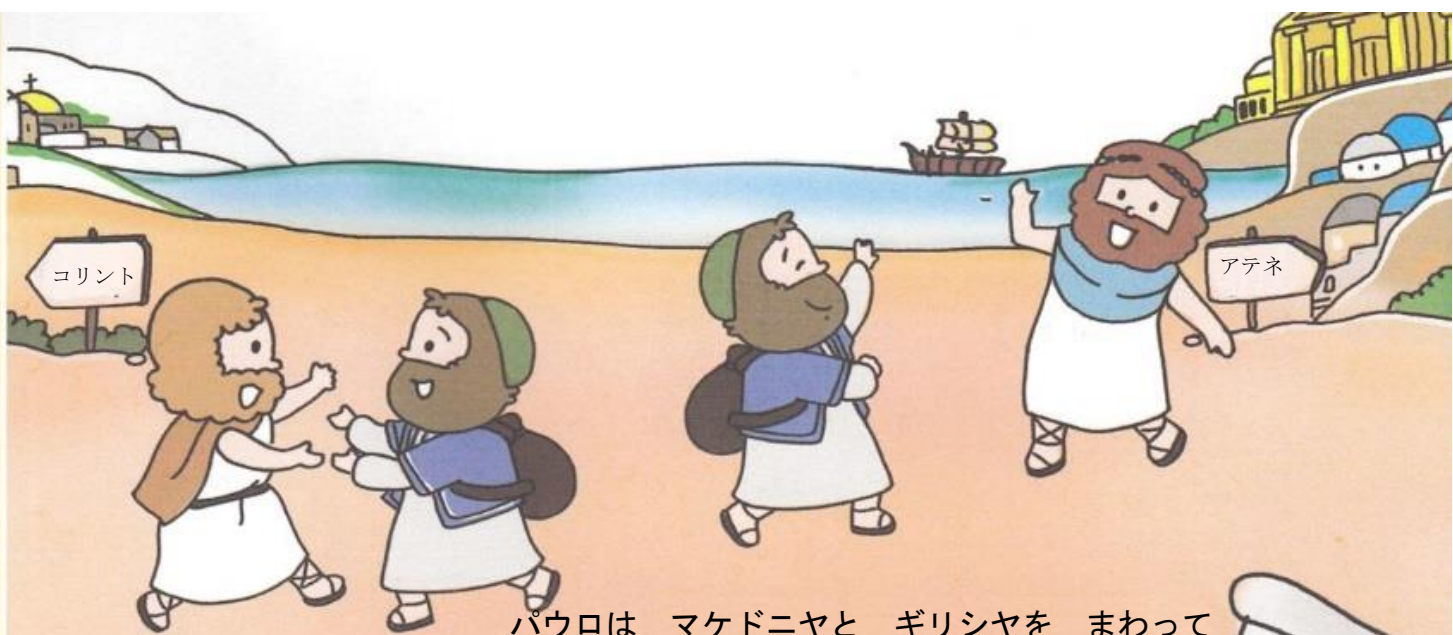
エペソでは  
ユダヤじんの かいどうに はいって行って  
だいたんに かみのくにに ついて はなしました。  
また でしたちを べつに たてて ツラノこうどうで  
でしたちに みことばを おしえました。  
2ねんかん このように したところ ユダヤじん、  
ギリシヤじんも すべてのひとが みんな  
しゆの みことばを ききました。



かみさまは パウロの てで  
おどろくべき ちからを みせて くださいました。  
パウロが みにつけていた てぬぐいを あてただけでも  
びょうきが なおりました。  
まじゆつを していた ひとが ぎんからまんまいも する  
まじゆつの ほんを もってきて すべてを ひで もやして  
しゆに たちかえる ことも おきました。  
かみさまの みことばには ちからが あるので  
ふくいんは どんどん ひろまって いました。



そのとき アルテミスという めがみの しんでんの もけいをつくって  
うっていた ぎんざいくの しょくにんたちが パウロの せいで  
しごとが できなくなることに きずいて おおさわぎ しました。  
パウロは この さわぎが おさまった あと でしたちと わかれて  
マケドニヤへ しゅっぱつしました。



パウロは マケドニヤと ギリシヤを まわって  
でしたちに であって はげしました。  
また りょこうの とちゅうで とおくにいた しんとたちに  
てがみを かいて おくことも しました。  
パウロの てがみを よんだ しんとたちは きょうかいの なかで  
ひとつとなって きょうどうたいと なる  
ただしい しんこうを もって ただしい  
しんこうせいかつを することが できました。



6



マケドニヤを しゅっぱつして トロアスに いった パウロは  
そこを しゅっぱつする まえの ひに あつまった ひとたち  
による おそくまで かみさまの みことばを おしえました。  
ところが ユテコという せいねんが まどに こしかけて  
みことばを きいていたのですが ねむりこんで  
したに おちて しんで しまいました。  
しんだ ユテコを いかえらせた パウロは  
もういちど ひとびとと あげがたまで  
かみさまの みことばを わちあいました。



7

トロアスを しゅっぱつして ふねに のって ミレトに  
とうちゃくしたパウロは そこで エペソの ちょうろうたちを  
よびあつめて さいごの ゆいごんの ような せっきょうを しました。  
パウロの しを かくごした しんこうに ちょうろうたちは  
おたがいに だきあって なきました。  
パウロは かれらをはげまして さいごまで  
しんこうに かたく たつようと おねがいしました。



9

パウロは エルサレムに もどっていく ために さいごの ふねに  
のりかえました。 ツロで でしたちは エルサレムに いかないようにと  
おねがいしました。 カイザリヤでは アガボという よげんしゃの よげんを  
きいて でしたちは みんな パウロが エルサレムに いくことを とめました。

エルサレムに いく みちは じゅんきょうの みちでした。

しかし パウロは どんな ことばにも ぜったいに ゆれることなく  
イエス・キリストの ふくいんを つたえる ために  
たびを やめることは ありませんでした。

ただ ふくいん だけの ために いった  
でんどうしゃ パウロ!

かみさまは パウロを とおして  
このよの すべての ひとが すくわれることを  
ねがって おられました。

さいごに ローマに いったも ふくいんを  
つたえるように されたのでした。

